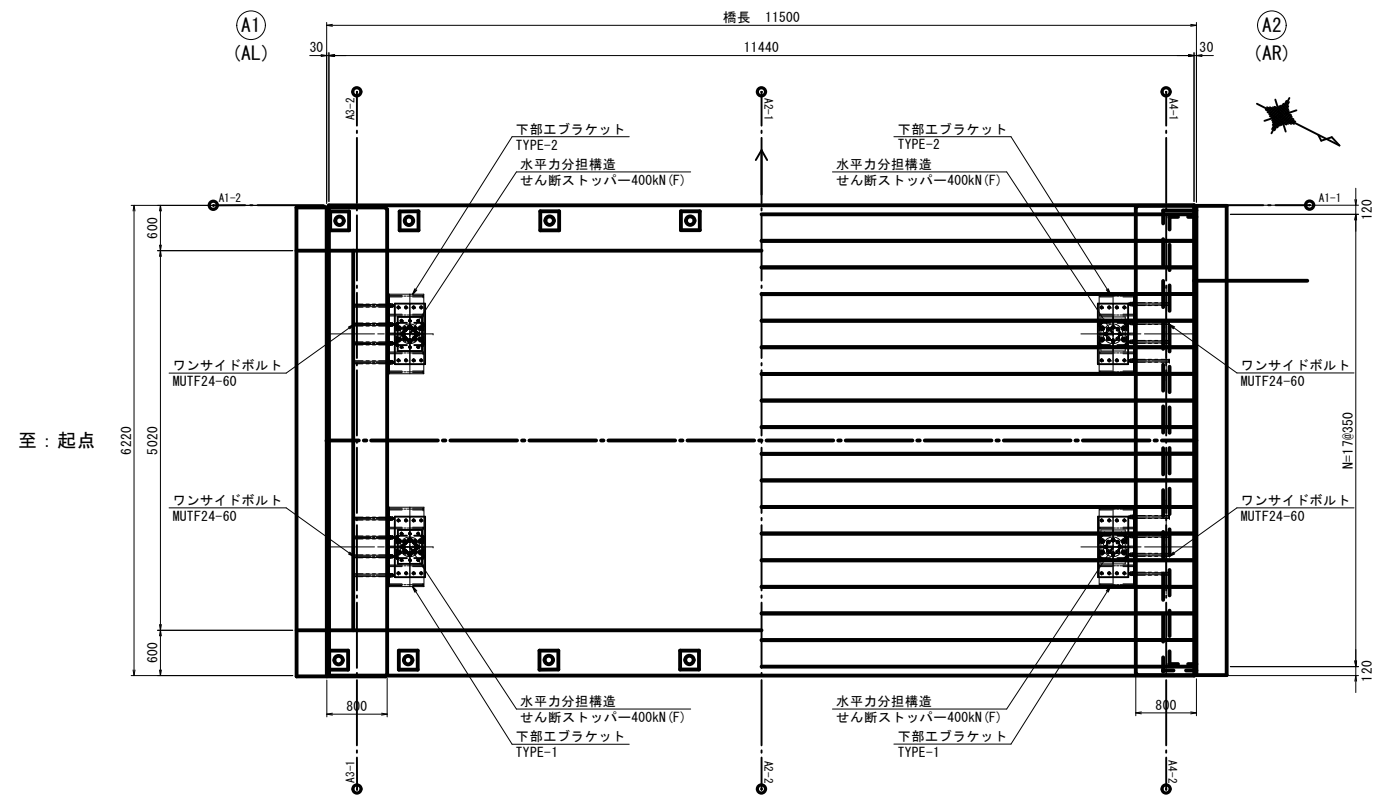
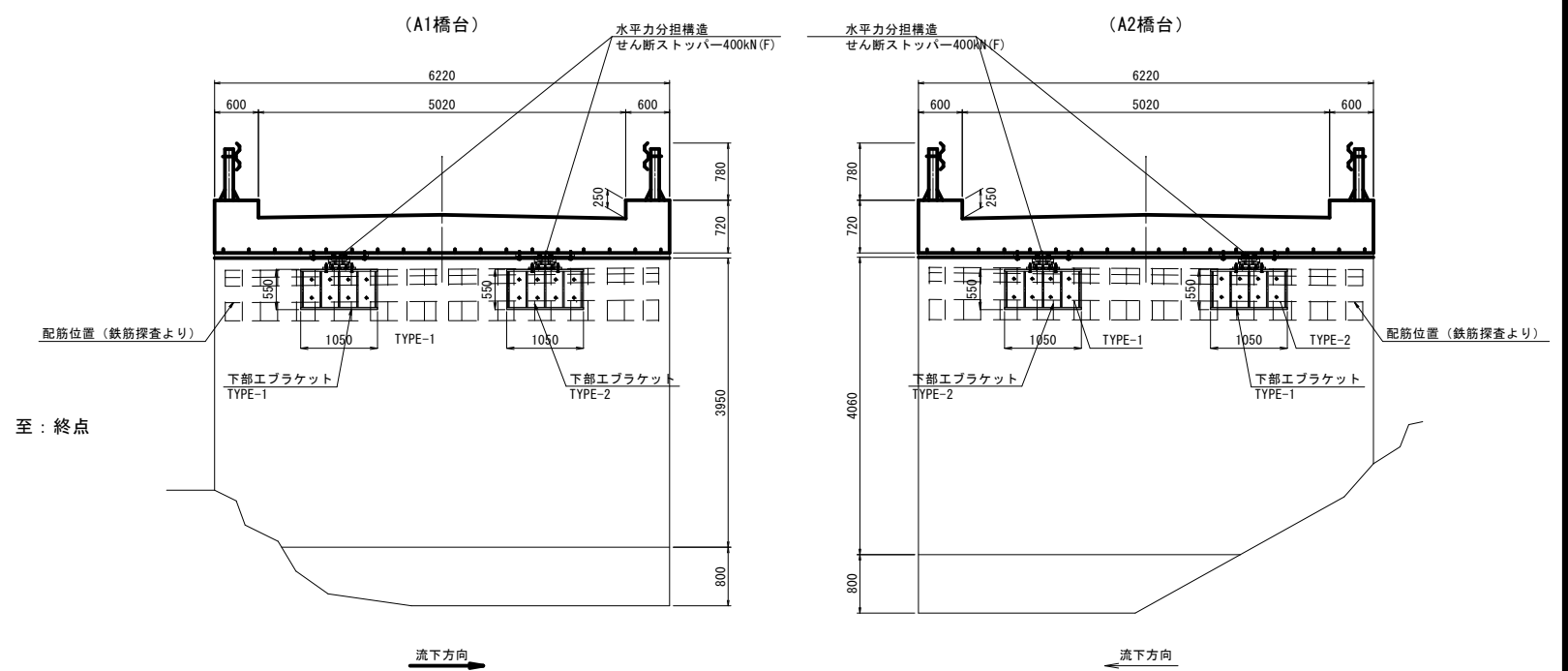


蛇淵栈道橋 耐震補強全体一般図

平面図 S=1:50 (1:100)

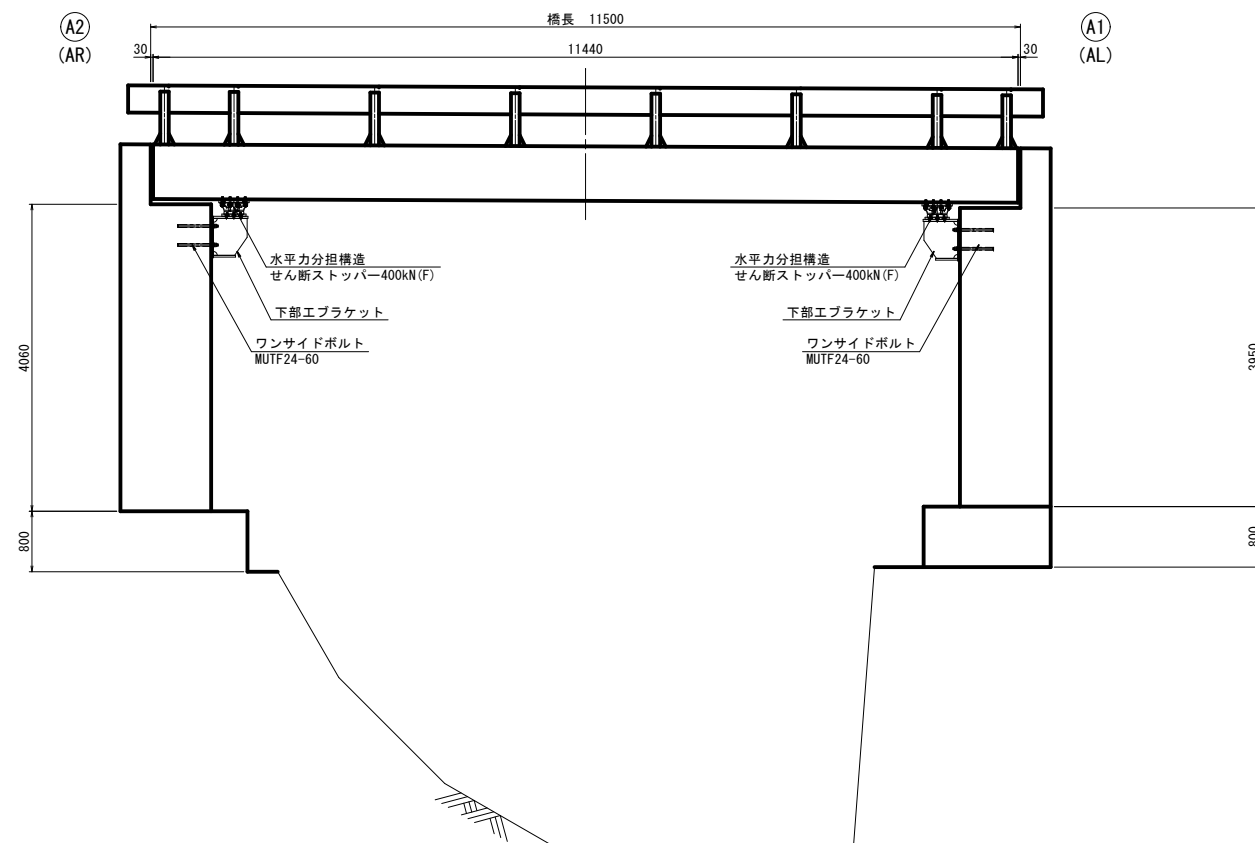


下部工断面図 S=1:50 (1:100)



側面図 S=1:50 (1:100)

(下流側)



設計条件

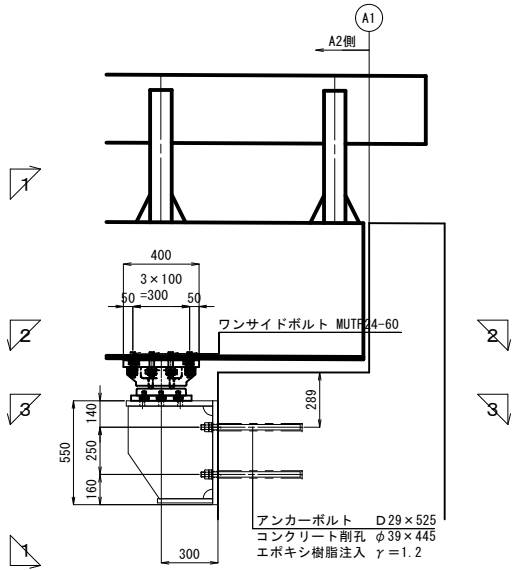
道 路 区 分		不明	
活 荷 重		A活荷重	
橋 長		11.500m	
支 間 長		11.020m	
幅 員 構 成		全幅員 6.200m 有効幅員 5.000m	
斜 角		90°	
設 計 水 平 震 度		0.22	
死 荷 重 反 力		400.000kN	
橋 形	形 式		鋼単純角田橋
	支 承		ゴム支承
橋 形 式	軀 体	重力式橋台	
		基礎	
	基 礎		直接基礎
橋 形 式	支 持 地 盤		Ⅱ種地盤
適 用 基 準 書		道路橋示方書（H14）	

工 事 名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵栈道橋）		
路 線 名	市営林道野猿谷線		
工 事 箇 所	甲 府 市 御 岳 町 地 内		
図 名	耐震補強全体一般図		
縮 尺	図 示	枚 数	<div>1</div> <div>7</div>
			甲府市産業部農林振興室林政課

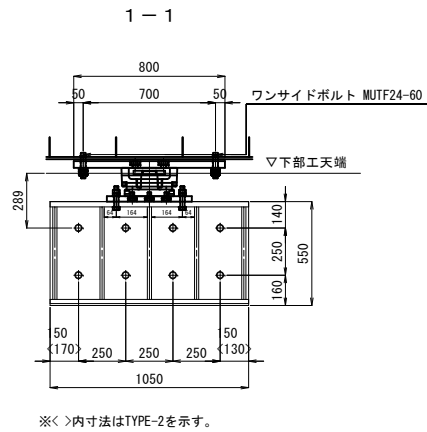
()内の縮尺50%縮小

蛇淵栈道橋 A1橋台 水平力分担構造工（1）

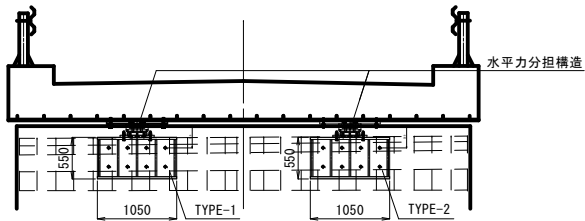
側面図 S=1:20



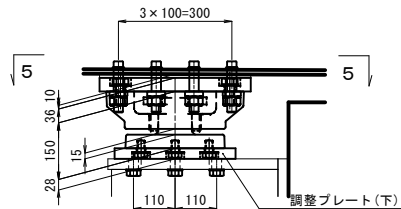
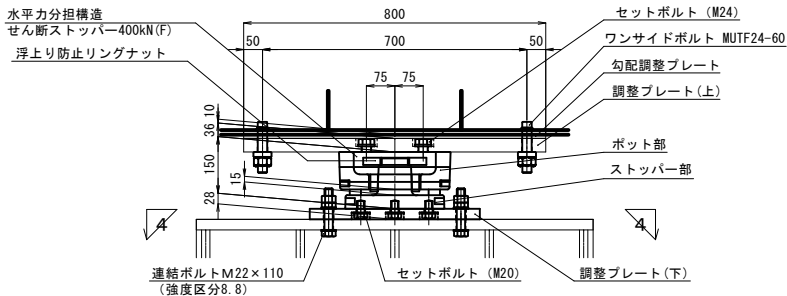
断面図 S=1:20



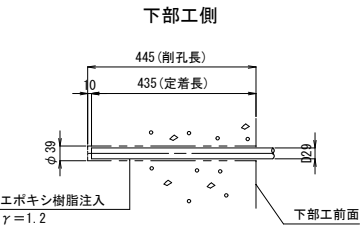
正面図 S=1:50



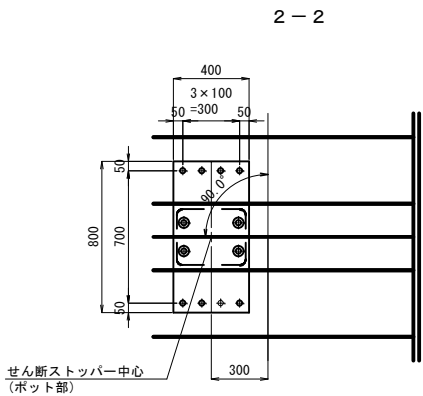
せん断ストッパー取付詳細図 S=1:10



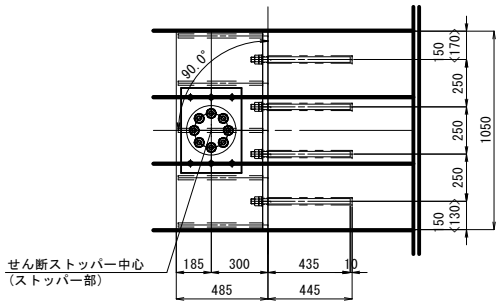
コンクリート削孔詳細図 S=1:10



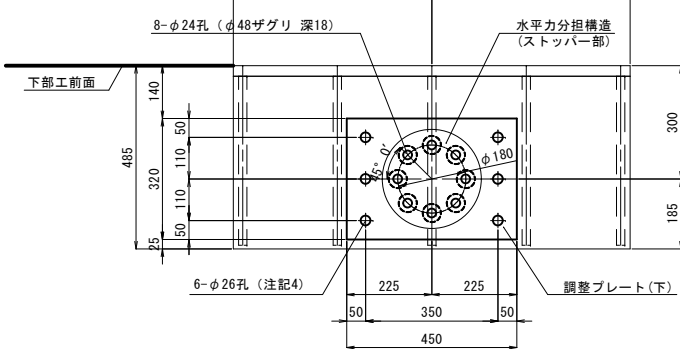
平面図 S=1:20



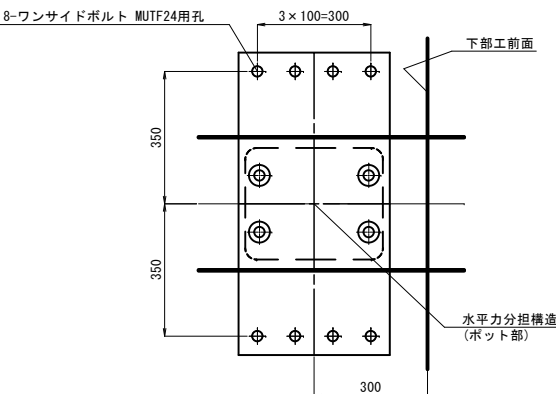
3-3



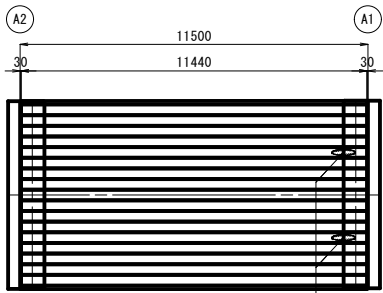
4-4



5-5



位置図

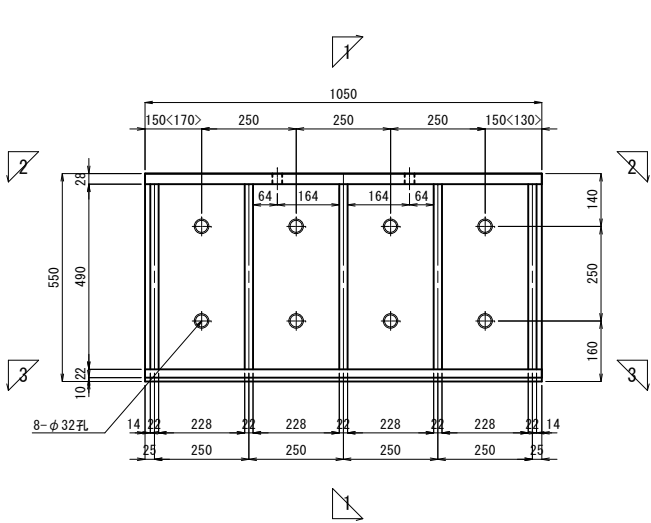


- 注記)
- 1) 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 - 2) 下部工側は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 - 3) アンカーボルト定着長は既設躯体より15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
 - 4) 下部工ブラケット天端の孔明工は現場孔明とし、調整プレート(下)の連結ボルト孔は工場孔明とする。

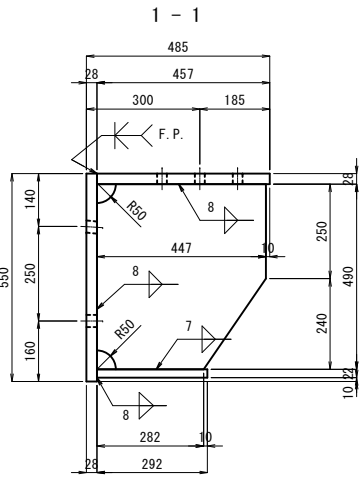
工事名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵栈道橋）		
路線名	市営林道野猿谷線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	A1橋台 水平力分担構造工（1）		
縮尺	図示	枚数	2 / 7
甲府市産業部農林振興室林政課			

蛇淵栈道橋 A1橋台 水平力分担構造工（2）

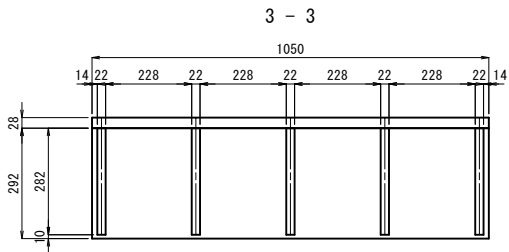
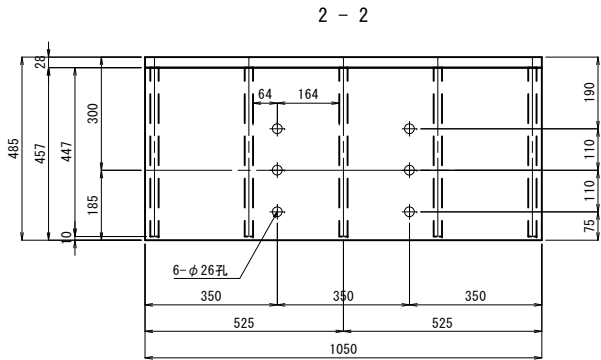
下部エブラケット詳細図 S=1:10



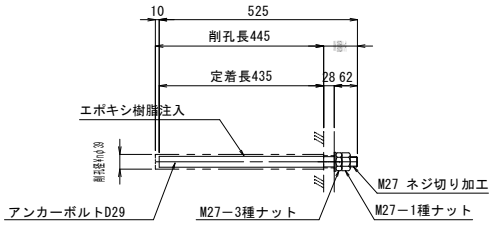
※<>内寸法はTYPE-2を示す。



材料1基当り（全2基）
1 - Base PL 550 × 28 × 1050 (SM400A)
1 - Flg PL 457 × 28 × 1050 (SM400A)
1 - Flg PL 292 × 22 × 1050 (SM400A)
5 - Rib PL 447 × 22 × 490 (SM400A)

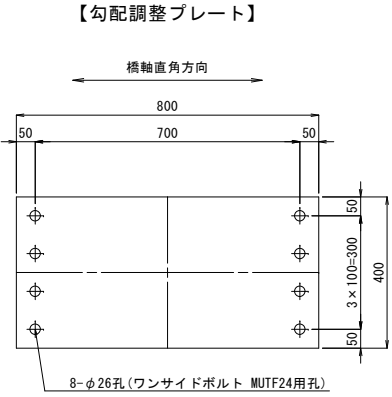


下部アンカーボルト詳細図 S=1:10

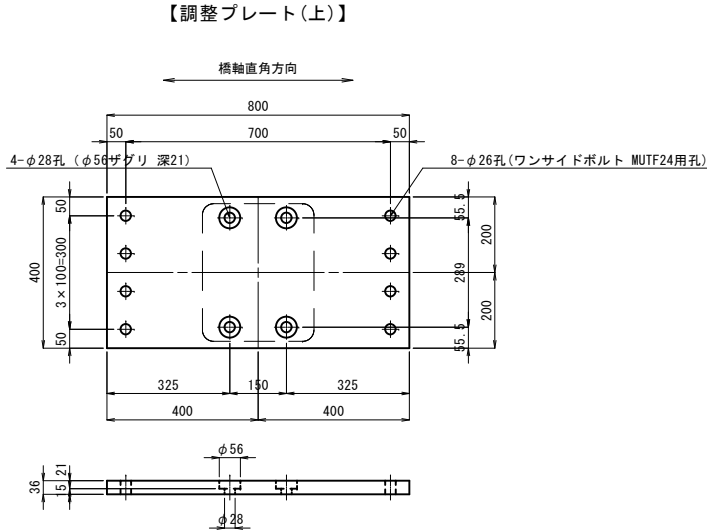


材料1基当り（全2基）
8-Anc Bolt D29 × 525 (SD345)
8-Nut M27 1種ナット・3種ナット
8-Washer M27 座金

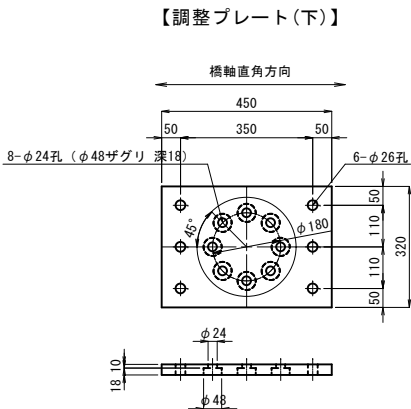
調整材 S=1:10



勾配調整PL
材料1基当り（全2基）
1-PL 400 x 11 x 800 (SS400)



調整PL（上）
材料1基当り（全2基）
1-PL 800 x 36 x 400 (SM490YB)
8-ワンサイドボルト MUTF24-60



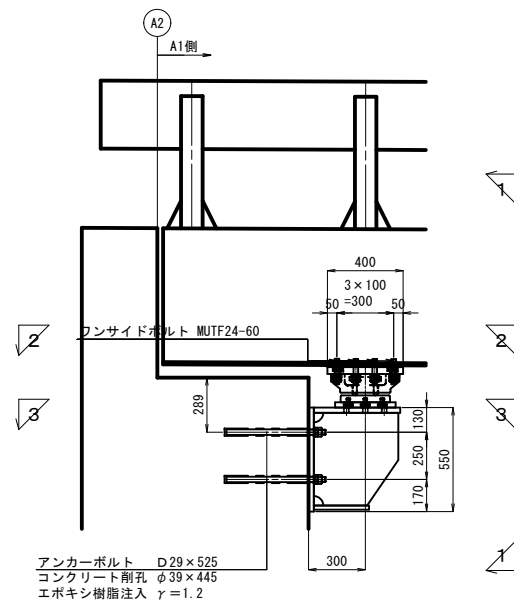
調整PL（下）
材料1基当り（全2基）
1-PL 320 x 28 x 450 (SM490YB)
6-連結ボルト M22 x 110 (強度区分8.8) (2-N, 2-W)

注記)
1) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
2) 特記なきスカラーアップはR50とする。
3) 下部工側ブラケット及びアンカーボルト埋め込み部を除いた部分を下記の通りの溶融垂鉛メッキとする。
HDZT77 銅板
HDZT49 アンカーボルト
4) 溶融垂鉛メッキ部材の摩擦接合面は、リン酸処理を施すこと。
5) コンクリート削孔は鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。

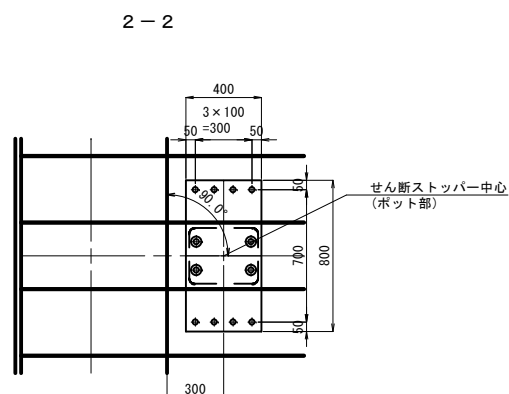
工事名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵栈道橋）		
路線名	市営林道野猿谷線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	A1橋台 水平力分担構造工（2）		
縮尺	図示	枚数	3 / 7
甲府市産業部農林振興室林政課			

蛇淵棧道橋 A2橋台 水平力分担構造工 (1)

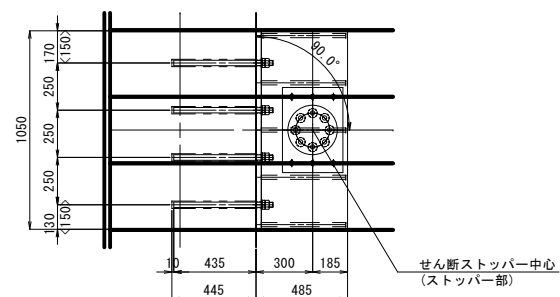
側面図 S=1:20



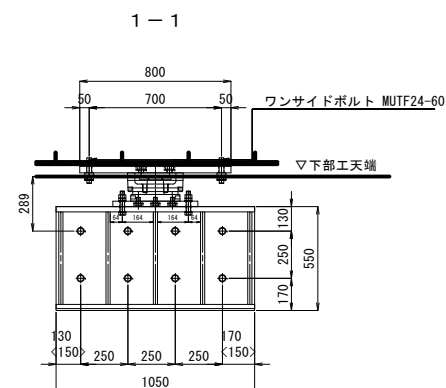
平面图 S=1:20



3 - 3

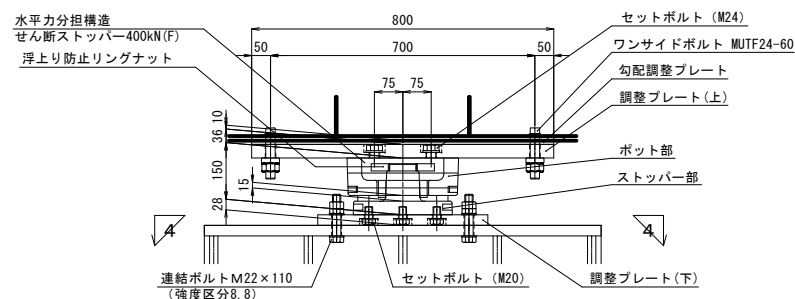


断面図 S=1:20

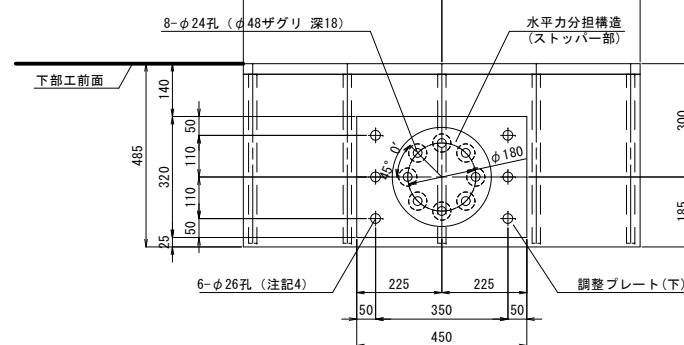


※＜＞内寸法はTYPE-2を示す。

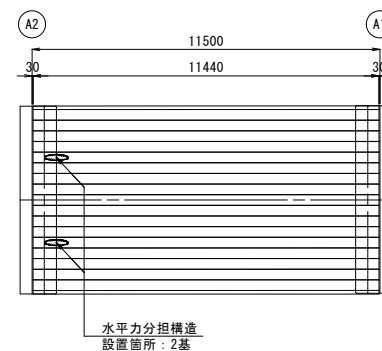
せん断ストッパー取付詳細図 S=1:10



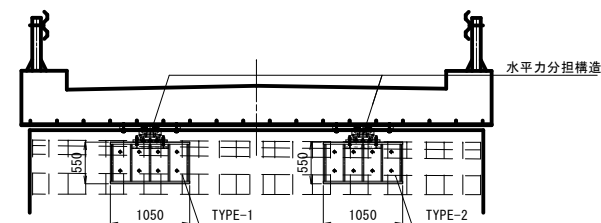
4 - 4



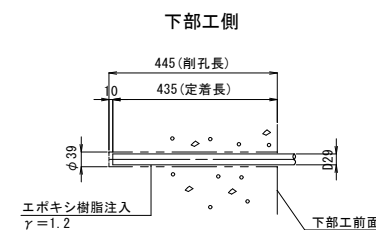
位置図



正面图 S=1:50



コンクリート削孔詳細図 S=1:10



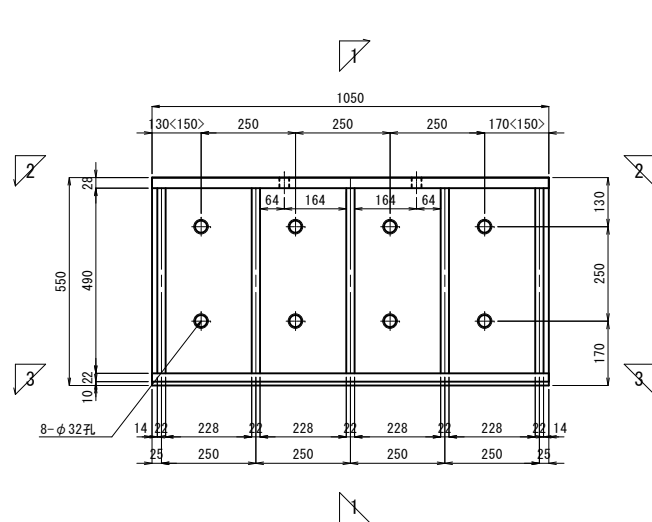
(注記)

- 1) 國中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
- 2) 下部工側は鉄筋探査等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
- 3) アンカーボルト定着長は既設躯体より1.5φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- 4) 下部工ブラケット天端の孔明孔は現場孔明とし、調整プレート(下)の連結ボルト孔は工場孔明とする。

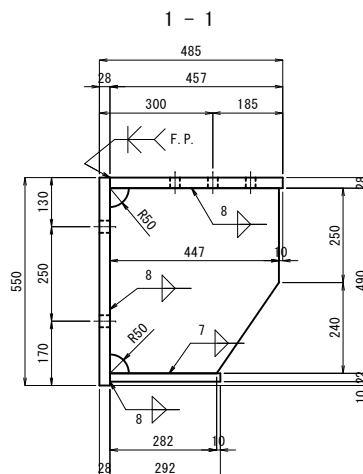
工事名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵棧道橋）		
路線名	市宮林道野猿谷線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	A2橋台 水平力分担構造工（1）		
縮尺	図示	枚数	4 7
甲府市産業部農林振興室林政課			

蛇淵棧道橋 A2橋台 水平力分担構造工 (2)

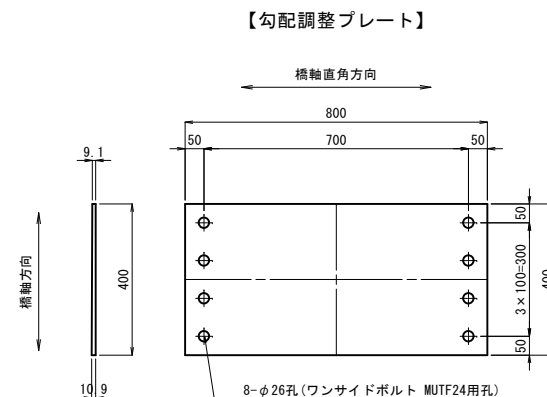
下部エブラケット詳細図 S=1:10



※＜＞内寸法はTYPE-2を示す。



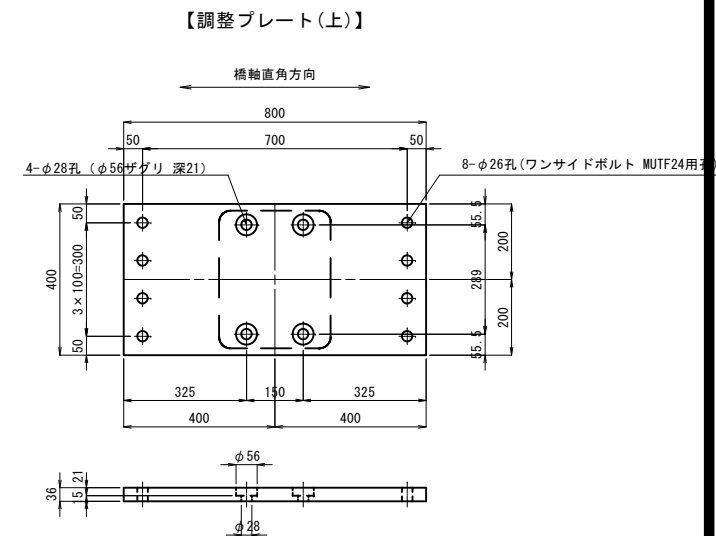
調整材 S=1:10



勾配調整PL

材料1基当り (全2基)

1-PL 400 x 11 x 800 (SS400)

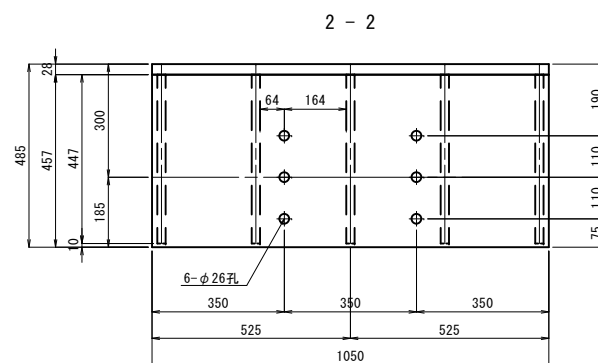


調整PL (上)

材料1基当り (全2基)

1-PL 800 x 36 x 400 (SM490YB)

8-ワンサイドボルト MUTF24-60



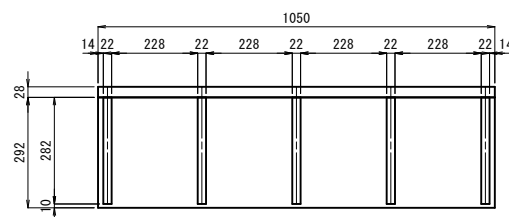
材料1基当り (全2基)

1 - Base PL 550 x 28 x 1050 (SM400A)

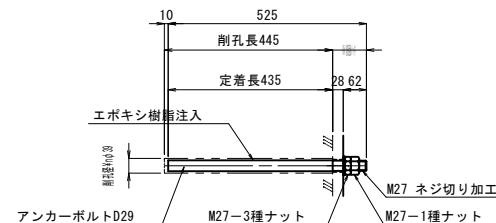
1 - Flg PL 457 x 28 x 1050 (SM400A)

1 - Flg PL 292 x 22 x 1050 (SM400A)

5 - Rib PL 447 x 22 x 490 (SM400A)



下部アンカーボルト詳細図 S=1:10

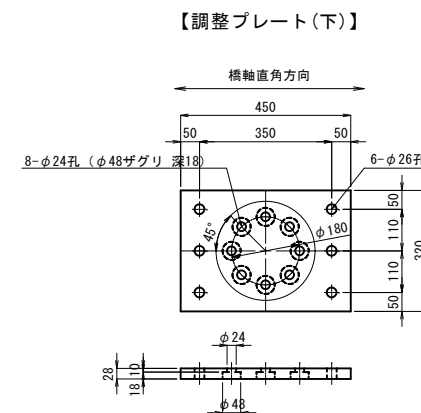


材料1基当り (全2基)

8-Anc Bolt D29 x 525 (SD345)

8-Nut M27 1種ナット・3種ナット

8-Washer M27 座金



調整PL (下)

材料1基当り (全2基)

1-PL 320 x 28 x 450 (SM490YB)

6-連結ボルト M22 x 110 (強度区分8.8) (2-N, 2-W)

注記)

1) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。

2) 特記なきスカーラップはR50とする。

3) 下部工側ブラケット及びアンカーボルト埋め

込み部を除いた部分を下記の通りの熔融亜鉛メッキとする。

HDZT77 鋼 板

HDZT49 アンカーボルト

4) 溶融亜鉛メッキ部材の摩擦接合面は、リン酸処理を

施すこと。

5) コンクリート削孔は鉄筋探査を行い、

既設鉄筋を切断しないように留意すること。

工事名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵棧道橋）		
路線名	市営林道野猿谷線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図 名	A2橋台 水平力分担構造工（2）		
縮 尺	図 示	枚 数	
甲府市産業部農林振興室林政課			

蛇淵栈道橋 A1, A2橋台 せん断ストッパー製品図

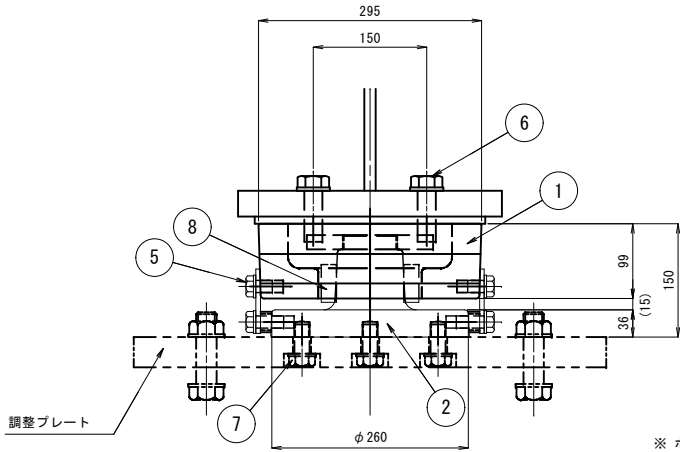
水平力分担構造
(MC-400 ; F)

設計条件

設計荷重		地震時許容荷重
橋軸方向	356 kN	420 kN
橋軸直角方向	178 kN	

取付断面図 S=1:5

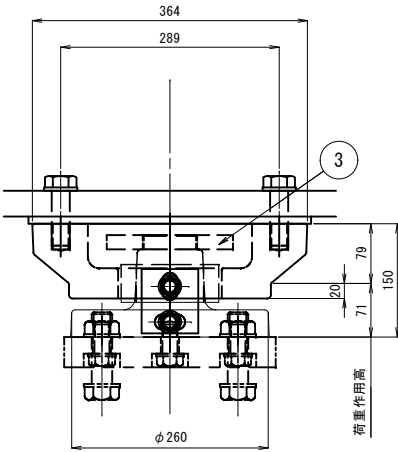
(橋軸直角方向)



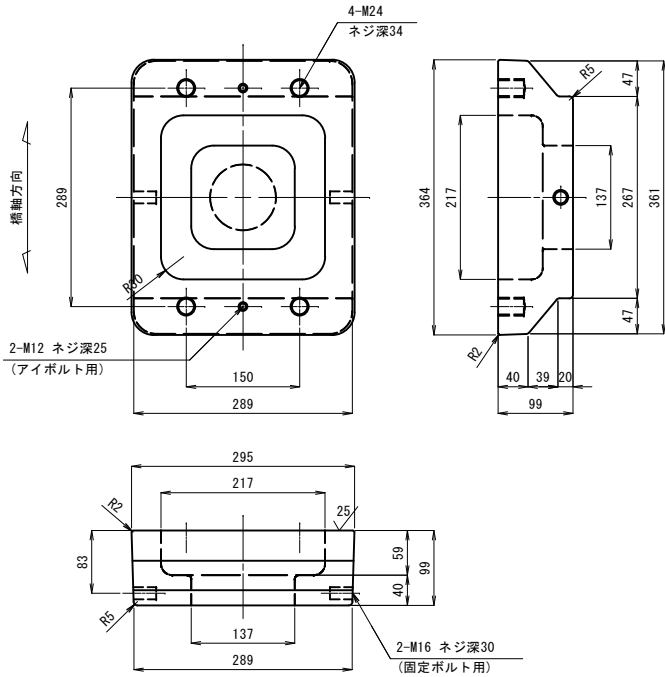
※ ポット部品とストッパー部品の納入時の製品高さは、製品高+6mm程度で納入する。据付時は固定ボルトを取り外し、所定の高さにセットすること。

取付側面図 S=1:5

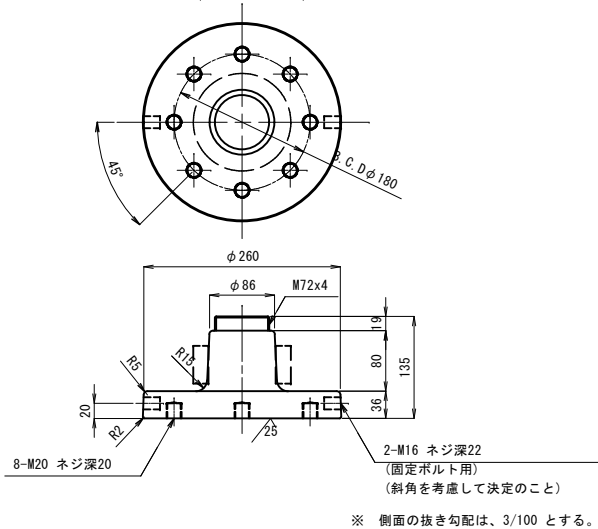
(橋軸方向)



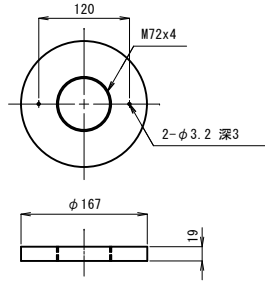
1 ポット部品 S=1:5



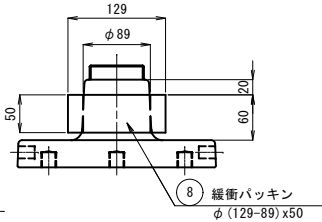
2 ストッパー部品 S=1:5



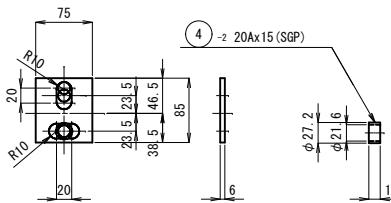
3 リングナット部品 S=1:5



緩衝パッキン取付図



4 -1 固定用プレート S=1:5



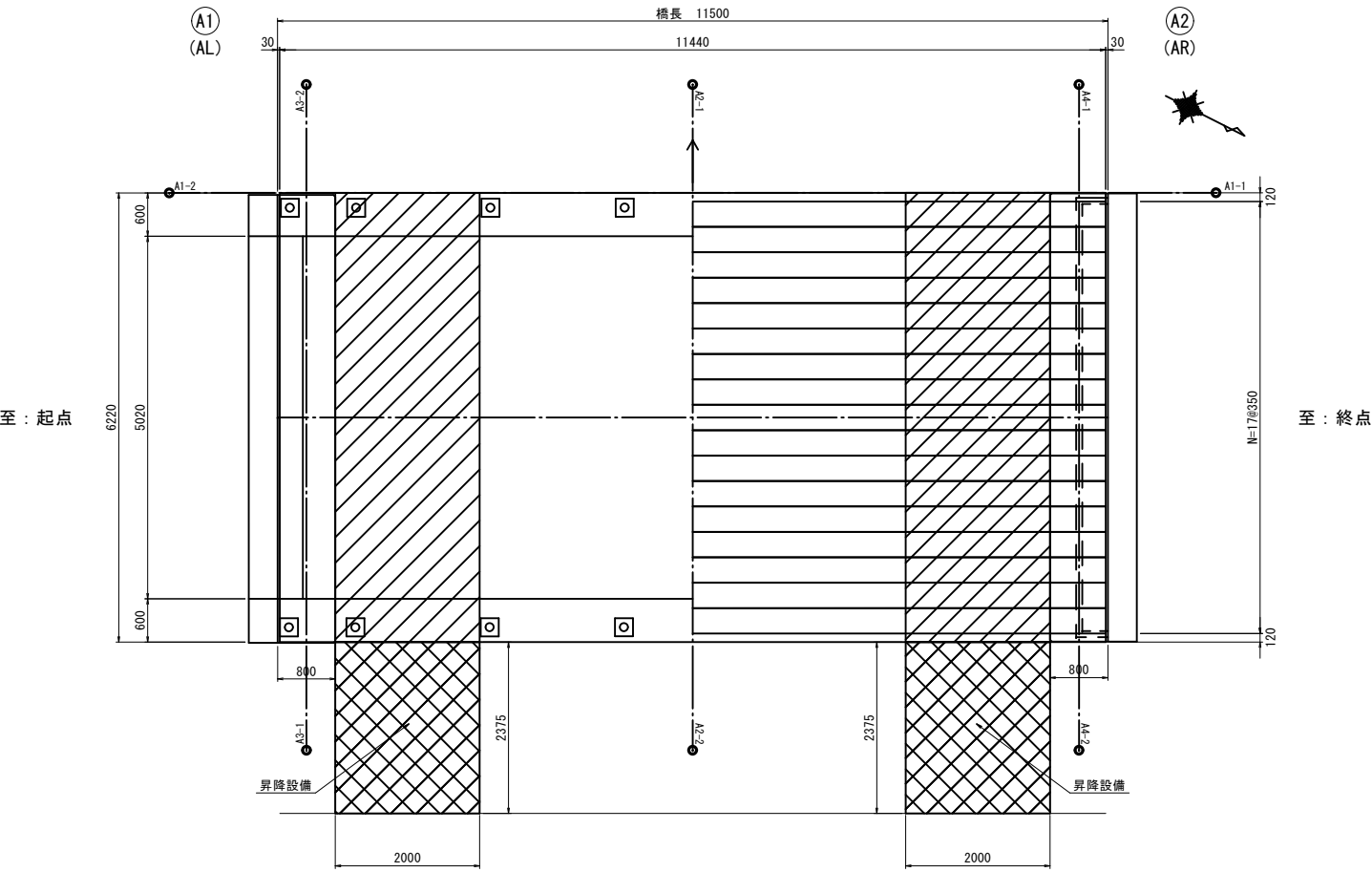
- *1) □ 内部品は、溶融垂鉛メッキ HDZT77
○ 内部品は、溶融垂鉛メッキ HDZT49
- *2) アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。
- *3) 固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。
符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。
- *4) 固定用プレート、スペーサーは、高濃度垂鉛末塗装 30μmとする。
- *5) せん断ストッパーは、水平になるよう設計する。
縦断勾配がある場合は、テーパプレートで調整すること。
- *6) セットボルト長は、現場条件により再検討すること。
- *7) 調整プレートは、製品に含まれておりません。

- 5 固定用ボルト、ワッシャー M16 x 25 強度区分4.8
M16 x 40 強度区分4.8
- 6 セットボルト、ワッシャー(上側) M24 x 45 強度区分8.8
- 7 セットボルト、ワッシャー(下側) M20 x 30 強度区分8.8

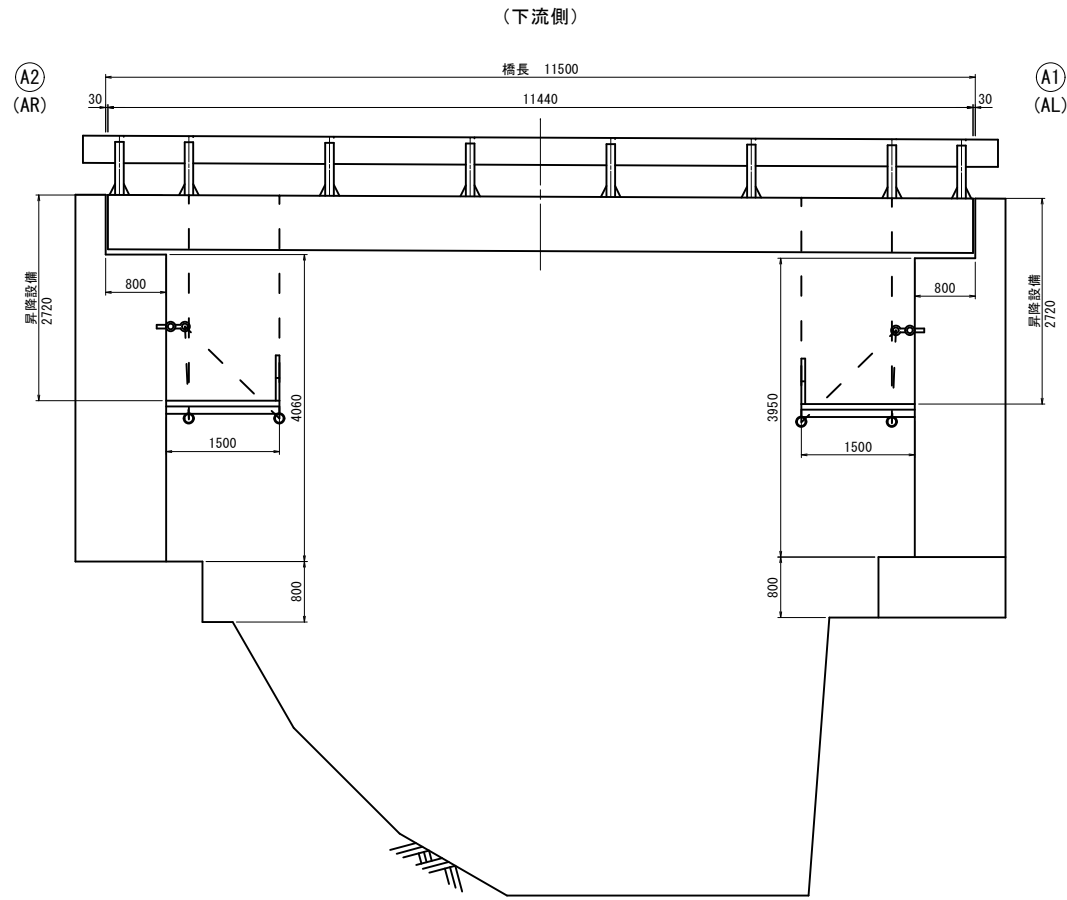
工事名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵栈道橋）		
路線名	市営林道野猿谷線		
工事箇所	甲府市 御岳町 地内		
図名	A1, A2橋台 せん断ストッパー製品図		
縮尺	図示	枚数	6 / 7
甲府市産業部農林振興室林政課			

蛇淵栈道橋 仮設工参考図

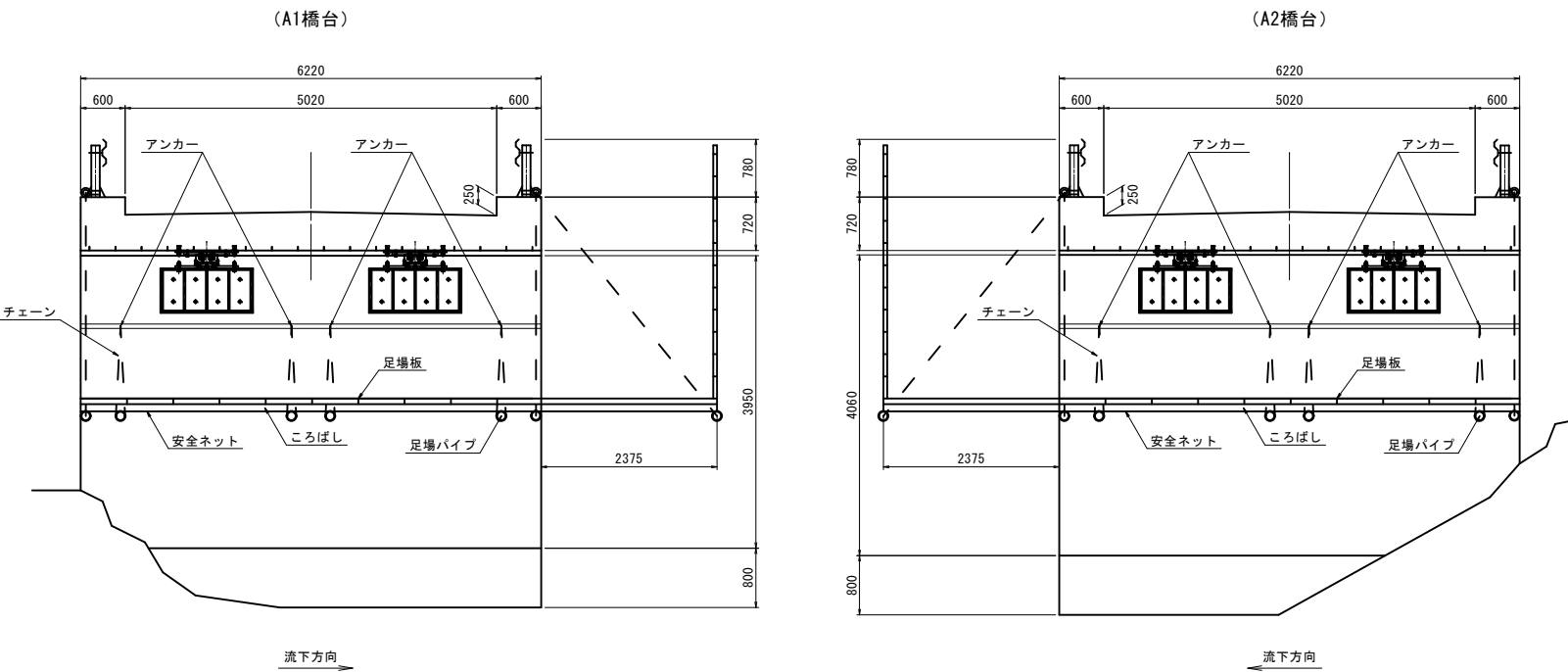
平面図 S=1:50 (1:100)




側面図 S=1:50 (1:100)



下部工断面図 S=1:50 (1:100)



吊足場 数量表						1式当り
名 称	規 格	数 式	単位	数 量	摘 要	
吊足場		$1.50 \times (6.22 + 2.38) \times 2$	m ²	25.80		
昇降設備		2.72	m	2.72	2箇所	

工 事 名	林道野猿谷線改良工事（蛇淵棧道橋）				
路線名	市営林道野猿谷線				
工事箇所	甲府市 御岳町 地内				
図 名	仮設工参考図				
縮 尺	図 示	枚 数			
甲府市産業部農林振興室林政課					

()内の縮尺50%縮小